

ネイティブ ストレプトマイセス クロモフスカス ホスホリパーゼ D

Cat. No. NATE-0596

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 ホスホリパーゼDは、ホスホリピッド加水分解酵素であり、受容体媒介のシグナル伝達□答お

よび調節分泌の重要な成分です。ホスホリピッドおよびスフィンゴミエリンのリン酸結合を加水分解し、□□するホスファチジン酸を生成します。ホスホリパーゼDは、ピーナッツにおける

干ばつ感受性の付与に関与しており、アフラトキシン汚染のリスクを高めます。

*別*名 ホスホリパーゼD; EC 3.1.4.4; リポホスホジエステラーゼII; レシチナーゼD; コリンホスファ

ターゼ; PLD; 9001-87-0

製品情報

由来 ストレプトマイセス・クロモフスカス

形態 タイプ**I**、緩衝された水性グリセロ―ル溶液; 100 mM Tris/HCl、pH 8.0、10% グリセロー

ル (v/v)、および 0.1% Triton X-100 (w/v) の溶液; タイプII、凍結乾燥粉末。

EC番号 EC 3.1.4.4

CAS登□番号 9001-87-0

分子量 分子量 ~60 kDa

活性 タイプI、> 50,000単位/mL; タイプII、> 150単位/mg 固体。

単位定義 1ユニットは、pH 8.0および37°CでL-α-ホスファチジルコリンから1 μ molのコリンを1時間あ

たり放出します。

保管・発送情報

保存方法 -20℃